FPUAA No.33

福岡県立保母養成所　福岡県立保健婦養成所
福岡県社会保育短期大学　福岡県立公衆衛生看護学校
福岡県立大学　福岡県立看護専門学校
現在会員数１４，０５０ 名

Fukuoka Prefectural University Alumni Association

令和3年(2021)3月17日に277名の卒業生が同窓会の仲間に入りました

四役挨拶

会長　野口　久美子
（福岡県立看護専門学校
保健婦助産婦科2期）

コロナ禍の中、長かった緊急事態宣言も解除されました。
この間、2020オリンピック・パラリンピックも開催され、多くの感動と供に、多様な社会への推進へと大きく舵が切られ、共生社会実現に向けて、沢山のメッセージが発信されました。無観客の中、専ら自宅でのテレビ観戦でしたが、歴史に残るオリンピックパラリンピックになったことでしょう・・・・

同窓生の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか？もう、2回目のワクチン接種は、実施されましたか？居住地の自治体の取り組みやワクチンの確保状況も異なりますが、まずは、ワクチン2回実施に向けて頑張ってください。今では、3回接種の話がチラホラでていますが・・・・
コロナは、次々に変異し、今ではデルタ株に置き換わり、高齢者が重症化すると言われていた1年半前とは、想像もつかない若人や幼児・学童に感染が広がっています。マスク、手洗い、3蜜を避ける毎日ですが、どんなに感染対策をしても、今やどこにいても誰でも感染しうる状況になり、不安との闘いの毎日を強いられていることでしょう。マスク会食も楽しみも半減し、なんだか後ろめたささえ感じ、毎日楽しくない生活を送っています。

このような中、広域接種や職域接種が推進され、できるだけ多くの方々の接種に拍車がかかっていますが、総裁選挙が行なわれる事となり、一秒たりともコロナ対策に遅れがでないようにしてほしいと願っています。一人一人の尊い命と生活が守れるよう、医療体制が充実して、安心して医療が受けられる環境が整ってほしいものです。

同窓会活動も、このような中、皆さんと集うこともできず、会議は書面開催になったり、様々な大学行事も中止になったり、コロナの影響は、はかり知れません。今回は、保健師教育の大学院化に向けて、取り組んできましたが、福岡県のコロナの感染状況、保健所の忙殺される業務過多等により、なかなかテーブルに乗らず、遅々として進展はありませんでした。来年も、再度保健師教育の大学院化に向けて、力を結集して、取り組んでいきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。どんな戦略で挑んでいけば良いのか、知恵もお貸しください。
コロナの収束は、一体いつになるのか、先が見えない状況ですが、希望を失わず一歩一歩のろまな亀ですが、歩みを進めていきたいと思っています。

私事ですが、私生活では、8歳、5歳、3歳の孫と同居しています。毎日が戦争のようなあわただしい時間を過ごしています。70歳になり、最近体力の衰えと、すぐに何でも忘れてしまい、自分の都合の良いことしか覚えることができず、家族からは、総すかんの状況です。孫と本気で喧嘩しますが、保健師として鍛えてきた口上ですが、負けてしまいます悔しい思いを毎回しています。お菓子やお金で操りながら、手名付けていますが、娘からは教育上悪いのでやめてくれと釘をさされ、夕食時のビールの飲酒量も増えています。早く、孫が二十歳になり、一緒においしいお酒を飲みたいものだとほくそ笑んでいます。それを楽しみに毎日コロナと闘いながら、元気に生きています。早く皆さんとお会いできますように。

勤勉なる日本人の「英知」を信頼して

副会長　杉本　眞佐子
（福岡県立保母養成所　15期）

彼岸花が畦道の緑に映える季節となりましたね。同窓会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。
昨年から未だに猛威を振るっている新型コロナウィルス感染症の対応に、多くの時を費やす日々をお過ごしのことと思います。
政府の指針に従って感染対策を講じていても、デルタ株の拡大により、幼子にまで感染が広がっている報道に心が痛み、憂いは深まるばかりです。

「その内、きっと、もう少ししたら」と活動を律しての、一年と十か月。

様々な「喜びの集い」も、「お別れの集い」も「集う」ことそのものができませんでしたが、其々、工夫し、計画し、考慮しての歴史が刻まれました。

コロナの収束は「まず感染者数を減らすことにつきる」との、医療現場からの言葉に納得して「感染してはいけない、感染させたらいけない」と緊張した毎日は、日常のこととなりました。医療現場がひっ迫し、病気になっても十分な治療を受けられないとは、辛いですね。

多くの不安の中で、暑さだけは和らぎました。秋ならではの活動に想いを巡らせながらも、感染防止対策の基本を忘れずに、毎日を丁寧に暮らしましょう。

過ごしやすい季節の訪れが、医療、福祉の現場で力を尽くされている方々の負担に結び付くことが無いようにと祈るばかりです。

猿丸大夫の墓があるという山へ続く細い道に、いつの間にかお地蔵さんが立ちました。まだまだ、暑いときに・・・。季節は違うけど、かさこ地蔵の話を思い出していました。
「コロナの収束祈願」に赤布の胸飾りでもと考えてい

ると、お地蔵さんは動き出し、それが大きな猿だということに、やっと気がつきました。その猿が動き出すと、山道の端から沢山の猿が飛び出してきて、大きな猿に従ってゾロゾロと山の方へ帰って行きました。
いつもは、木から木へ飛び移り、畑の作物をあさり、爆竹の音にも動じることなく、人間の手の届かない屋根の上で食して、帰るのですが・・・
記録的な豪雨続きで畑には大して作物は残っていないのを知っていたのでしょうか。畑に降りてもこず、好物の柿の実も色づいてなく、山道の端で何を食べたのでしょう。
いつも腹立たしい猿ですが、ちょっと気にかかりました。それでも、今回のお地蔵さんと見間違えた猿は皆を見守り、見張り、悠然と、仲間たちを引き連れて行きました。
　次々とくるコロナ情報であたふたする自分の姿を想い、考えました。「見習おう、あの姿」
　様々な状況の中で、慌てることなく深く考え、心身共に健康であることに気を配り、元気な姿で皆様にお会いできる日を、落ち着き待ちましょう。
　日本人ならではの「英知と勤勉」とで、特効薬ができることを願って。
　※猿丸大夫とは、
　「奥山に 紅葉踏み分け 鳴く鹿の 声聞くときぞ
　　秋は悲しき」と詠った三十六歌仙の一人

コロナ禍での新生活

副会長　村島　京子
（福岡県社会保育短期大学11期）

　コロナ禍になり2年目に入りました。私が勤める幸袋こども園(9月1日現在170名)もマスク生活（3歳児.4歳児.5歳児.全職員）が定着し、三密を避け、園の行事も自粛しています。
朝、昼、夕、園内消毒・遊具やおもちゃの消毒。毎週土曜日には園内総消毒をしています。そんな中、5月の連休明けに保護者1名のコロナ感染の連絡、その方のお子さん2名(2歳児・0歳児)が濃厚接触者となり、PCR検査を受けることになりました。その日の夜8時に保健所より連絡があり、0歳児の陽性が判明。保健所と協議の結果、次の日、園内で濃厚接触者とみなされた0歳児14名、1歳児22名、それぞれの担任14名が園にてPCR検査を受けました。全員陰性でしたが、保護者の協力により、翌日から2日間休園しました。緊急事態宣言中の現在、次々に入ってくる保護者からの家族間のコロナ感染者に関する情報には、細かく聞き取り記録をし、保護者との連携を密にし、職員もワクチン接種をほとんど終え、気を引き締め、園内のコロナ感染防止に取り組んでいます。

職員研修もほとんどがリモート研修になりました。午後から1人、2人、パソコンに向かい、ある時は5名、今年度の筑豊地区保育事業大会では10名が午後から合同リモート研修を受けることができました。今では、キャリアアップ研修を毎日2人ずつ受けるなど、新しい研修体制に積極的に取り組んでいます。8月28日(土)には、保護者の方々に家庭保育の依頼をし、園児170名中20名のみの出席で、全職員で全館消毒、リモートによる園内合同研修(保育教諭30名中20名研修、園児係10名)を開催しました。
コロナ禍の中、子どもたちの遊びも制限がかかり、変わってきました。関わる保育教諭の質が問われます。大学の教授によるリモート研修で、子どもの心と体の発達を学び、保育の原点に返り、保育の質の向上に取り組んでいます。
　こども園では、現在、来年度に向けて、保育教諭の業務軽減の為のICT化導入を目指しています。登降園管理、ペーパーレス化、ドキュメンテーション(可視化)等々ありますが、先ずは、ドキュメンテーションに力を入れたいと思っています。

園の行事の自粛に伴い、保護者は園の中に入れない状態が続いています。こどもの日々の発達や一生懸命取り組んだ遊びなど、担任が日々の保育のきらりと輝く瞬間をカメラに収め、進級・卒園時にDVDを作成し、全園児にプレゼントしていました。その作成は、保育教諭のかなりの負担になっていたようでした。「ドキュメンテーション」とは、情報を収集し整理、体系化して記録を作成することを意味しています。保護者が、園での生活の様子が知りたいというニーズに、園と家庭との情報共有の場として、「目で見てわかる」ということで保護者の安心があります。保育教諭もドキュメンテーションを作成することで、子どもの育ちや思いに気付くこと、一人一人の子どもの感じ方や視点の違いに気付くことで、計画の評価、改善に繋げ、より良い保育を展開することができるようになります。
タブレットで各クラスの子どもの姿を撮影し、3歳以上児は月1回、保護者に発信する。3歳未満児は、日々の連絡を発信する、という目標を掲げています。
　また、ペーパーレス化として、園だより、クラス

だより、給食だより、種々のお便りをアプリ発信し、紙面では見ない保護者に携帯に発信することで周知率が上がることを期待しています。

登降園管理としては、出席管理にもつながり、保護者の携帯とクラスのタブレットが連動し確認ができ、欠席連絡をメールで受けるなどで、電話を取る手間の改善に繋がってきます。また、無断欠席児には、細やかな配慮が必要です。保育業界で進みだしたICT化が活きたものになることを望みます。

最後になりますが、コロナと共生しながら，子どもの育ちを支え、保護者の子育てを支え、子どもと子育てにやさしい社会になってほしいと願うばかりです。

副会長　郡谷　忠士
（福岡県立大学社会福祉科1期）

皆さま、お元気でいらっしゃいますか。年を重ねると、健康の大切さが身にしみて分かってきます。ここ1、2年、老眼の進行がひどく、「この視力減退はどこまで行くのやら」と心配になります。ちなみに、今年50歳になりました。

スマートフォンや時計機能を強化した腕時計タイプのスマートウォッチ、すぐにはピントが合わず、便利なものを便利に使えていません。愚痴ってもしょうがないので、このへんでやめておきますが、関節の痛みや足首や膝のケアの大切さを痛感しています。ストレッチやラジオ体操を継続することも大事なんだろう、と思います。

コロナ禍にあって、キャンプなどのアウトドアが人気とのことですが、私も山が好きな一人です。キャンプはできなくても、その道具を掃除したり、準備したり、車庫などで飯盒炊爨したり、楽しみは色々です。特に調理器具にこだわり始めると、いわゆる「沼」というものにはまってしまいます。

実験的なことが大好きで、メスティン（アルミ製の弁当箱のような2合くらいのコメが炊ける鍋）に自分でフッ素加工して焦げ付きにくくしたり、アルコールバーナーとガスバーナーとガソリンバーナーの火力実験をしたりしながら、時間を費やすこともあります。

しばしば、ハイキング程度の山登りに行きます。2年前、ウスキキヌガサダケというキノコを間近に見たりしましたが、このキノコはとても珍しく、レース状の傘のような部分（直径10センチくらい）が開くのに10分くらいかかるそうです。そして、このキノコは動物のフンのような匂いを出して、昆虫を呼び寄せ、自らの胞子や子実体のバラマキに利用するそうです。なので、数時間でキノコはなくなってしまうそうです。

まだまだ、知らないもの、知りたいもの、欲しいものが沢山あります。新しいものに出会うことやモノに対する欲求がわたしの生きる糧になっているのだと思います。

子どもも、一人は成人となり、一人は18歳。もう少し手が、いやスネがかかりますが、子どもたちが自立してから、さらに自分の仕事がひと段落してからが、人生楽しくなるのかもな、って思いこんで今を精一杯生きています。ただ、職から離れると不摂生になることが目に見えていますので、一生働く定めではあります。

幹事の方々から寄せられたメッセージ・近況報告

令和3年6月末までに寄せられたメッセージです。

福岡県立保母養成所

4期　月脚雅子
六月で八十五歳になりました。体はガタガタですが修理しながら動いております。でも運転と事務長の仕事は頑張っております。

5期　合代敦子
昭和33年に卒業して県職保母として約5年その後、嫁家先の保育園で子ども達と楽しい日々を続けておりました。その間、地区の会長、県保連の理事など微力乍らつとめさせていただきました。一年間ですが、県大の同窓会々長も勤めさせていただいた事も記憶に残っております。
本年高齢を迎え、理事長、園長を息子と交代して、まったく自由の身になりました。只今は趣味のステンドグラスの作成にはげんでおります。元気なうちにもう一度同窓生の方々とお会いしたいです！！

9期　上田ヤス子
3年前、田端（満生）鈴子さんの音頭とりで77歳（喜寿）の集いを行った。総勢11人が福岡ビル地下海幸に集う。白髪や顔の皺が目につくも。養成所時代の若々しい話しっぷりや声の音色まで懐かしく楽しい一時を過ごす。誰も第一線で活躍し、風格さえ備わった人格者になっていた。今年は傘寿　1日1日を大切に少しでも何かお役にたちたいと思っています。

10期　　山下藹子
今、82才ですが、コロナ禍の中で沢山の幼な児と共に一生懸命生きています。現役を実行中です。一日も早い終息を祈ります。
会員の皆様も社会の一員として、専門職を生かして行きましょう。特に看護科の皆様に生命とむきあい日々勤めていますね。お身体をご自愛下さい。ガンバレ県大魂！！

13期　清水紘子
13期生の皆様、残念ですが、
同期会は当分開催できそうにありません。
この状況に負けず、再会できる日を楽しみに、自分らしく生きていきましょうね。

福岡県社会保育短期大学

社会福祉科9期　吉村千春
一昨年の同窓会総会の幹事をして以来、10数人のグループラインで時々連絡を取り合っています。
ちょうど65歳になる私たちの最近のもっぱらの話題は、やはり「コロナワクチン」です。
すでに2回の接種を終えた人、1回終えた人、予約は取れた人、接種券さえ届いていない人。
居住地で格差があり、悲喜こもごもといったところです。
飯塚市に住む私にもようやく接種券が届き、クリニックにお願いしていますが、来月中旬になりそうです。
事務局の皆さまも、どうぞお元気でお過ごしください。

社会福祉科11期　檜垣裕美
自営業の手伝いをしながら、自宅とすぐ近くの事務所を往復しつつ、できるところの自粛生活をしています。去年、初孫が生まれ近くに住んでいるので日々の成長に驚かされながら、楽しませてもらっています。これからコロナと共に生きていかなければならない子供達を想うと、本当に大変なことですが、まずはワクチンがいき渡り、少しでも安心して生活できる日々が早く来るのを祈るばかりです。

社会福祉科12期　吉丸あけみ
社保短12期、社会福祉科卒業の皆様、いかがお過ごしでしょうか？
私は定年後の再雇用で児童発達支援の現場でこどもたちからパワーをもらいながら楽しく仕事をしております。
昨年は卒業後40年、併せて還暦という節目の年を迎えて、同期で集まりたいと思っておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、願いは叶わず残念でした。
今は、一日も早いコロナの終息を願いつつ、皆様にお会いできる日を楽しみに、日々を過ごしてまいりたいと思っております。
皆様もお元気でお過ごしください。

保育科15期　秋元裕子
県立大同窓会も緊急事態です。当番期になりますが、同期は小林（旧姓井上）映子さんが、“還暦同窓会”に向けて、張り切っていますが、開催も危ういところです・・・。「オンライン同窓会」にでもなるかなあ～？
ニュースでは“県大がコロナの予防接種会場になった”と報じられています・・・。さて、2年後はどうなっているやら―。皆様、呉々も御自愛下さい。

福岡県立公衆衛生看護学校

18期　猿渡美智代
新型コロナウイルス感染症の終息にむけて、卒業生の皆様も懸命な働きをなさっていることと思います。御自身の健康にも留意になさってお励み下さいますよう。

福岡県立看護専門学校

保健師科3期　　新二日市弘美
昨年の12月に還暦を迎え、退職後、6月から大学の保健室で勤務をしています。
初めての学校保健にワクワクしながら、新たな一歩を踏み出しました。
ボツボツですが楽しんで仕事をしていきたいと思います。

保健師科4期　一木真澄
県看保健婦科4回生の皆さん、元気ですか。
コロナがおちついたら、還暦祝いをみ～んなでやろうよ～！！
元気にしとかなよ～！！

看護科5期　小寺一恵
2年に1度の同窓会も新型コロナウイルスで延期となっています。又、皆様にお会いできる日を楽しみにしております。健康に留意され、穏やかに過されて下さい。

保健婦助産婦科6期　江島恵美子
コロナ禍で、今年のクラス会は断念しました。いつ頃、開催できるか・・・今のところ予防接種が70～80％実施された頃ならと考えています。前回グループラインのお誘いをしました。現在半数以上の15名が加入しています。この会報が届く人は、以前問い合わせて、12名だったか？（会費納入者のみ）。まだ知らない方へは、教えてあげて下さい。また、スマートホン以外の方へは情報提供お願いします。
今年4月平田（旧姓河野）さんの自宅が、隣家からのもらい火（延焼）にて全焼されました。お気の毒でなりません。現在彼女の実家にお住まいで、少し元気になられてる様子。仕事も行っているとのこと。
＜平田さんより＞
昼だったから気づいて助かったが、もし夜中だったら・・・生きていられたかどうか・・・。何も持ち出せず・・・でも命があってよかった。皆さん、健康も家も、自分で守らんば！！火災保険の内容を確認すること。家財保険も大切・・・。
来年1月末には、自宅が完成予定とのことでした。
グループラインでみんなの情報を楽しみにしているとおっしゃっててました。
いろいろあるねえ・・・。
次回開催のクラス会を楽しみにしていて下さいね。

保健婦助産婦科7期　髙橋孝子
新型コロナウイルスの流行により幹事として引き続いてしています。7回生の同窓会が開かれないままになっています。次回まで役員を続けておきますので、よろしくお願いします。又、会える日を楽しみにしています。

福岡県立大学

社会学科1期　今井尚也
今春我が家の長女が福岡から関西に大学進学の為に旅立ちました。コロナ禍の新共通テスト、遠方受験と我が子ながらよく頑張ってくれました。
オープンキャンパス、二次試験、アパート探し、引越しと運良く付き合う事ができたのですが、事あるごとに約30年前に自分が受験で初めて関東から福岡に来た時のこと、また、その時同じ様に送り出してくれた今は亡き母の顔を思い出していました。
そして引っ越しが一段落してすっかり荷物が片付いて、主人のいなくなった空っぽの子供部屋を見ていたら急に寂しさが湧いて来ました。当の本人は全くそんな気配を感じさせませんでしたが…
考えてみたら自分の時も、泣きながら見送る母親を尻目に、これから始まる福岡での新生活にワクワクしかなかったかな!?(#^^#)
きっと彼女の大学生活にもこれから良い事、悪い事、たくさんの出来事が待ち受けていると思いますが、私が愛する第二の故郷田川で皆さんと出逢えたように、彼女も大学で一生共に泣き笑いできる素敵な友達に巡り会える事を願っています。

近況報告

令和3年9月末までに寄せられたメッセージです。

福岡県立保母養成所

2期　山口規子
私の近況～花火舞う　アカシア祭　大連で。
同窓会事務局の皆様、御苦労様です。
一昨年五月、七十二年振りに故郷中国大連へ行って来ました。ホテル前で花火大会があり異国の花火を楽しみました。五月はアカシアの花の甘い香りが街中に漂い、「北方の真珠」と呼ばれる美しい港町大連。今も残る旧ヤマトホテルの中を見学した後、喫茶室で中国茶をいただき、懐かしいひとときを過ごしました。
外出もままならない昨今ですが、趣味の読書、小物作りの他、昨年から漢字検定学習を始めました。漢字の奥深さに日々発見があり、時を忘れて没頭しています。
後記になりましたが、同窓生の健康と御活躍を祈念いたします。

7期　佐東惠子
雪がとけ、そろそろ村人達が田植えの準備をはじめる頃、伊田彦山川の「川渡り神幸祭」のはじまりである。田川には昔から五月の「神幸祭」、十月の「炭坑祭り」がある。幼い時から鉦や太鼓の音を聴くと心がおどった。敗戦二年後に復活した川渡りは、伊田の「風治八幡神社」「白鳥神社」から神輿を先頭に各集落の山笠が色とりどりのバレンを飾り付け、それを多くの若者達が担ぎ、出発し、彦山川へと入水し、そこで一大神事絵巻きが繰り広げられるのである。
囃子の音、威勢の良い掛声、勢よく飛散る水しぶき、体から立ち上る湯気、揺れるバレンなど筑豊の初夏の訪れを告げる絢爛、豪華な田川の祭りを今も誇らしく思っている。
終戦後食量不足の時でも母が作る「ちらし寿司」「巻きずし」「いなり寿司」そして「赤飯」に「ぼた餅」と米づくしのごちそうに舌鼓を打ち、腹パンパンにして急ぎ従姉妹達と祭りを見に行った。あの時の満たされた気持は、今も宝物として残っている。
しかし昭和三十年後半炭坑閉山により人口が激減し若者達が少なくなった事は私も知っている。その後ふる里を離れたので不安に思っていた。しばらくして・・・。
ところが姪から送られて来た「カレンダー」を見て驚

いた。そこには多くの立派な若者達が勢よく山笠を担いでいる姿があった。すぐ姪に電話すると「県立大学の学生さん達が協力してくれてるんよ。炭坑祭りもそうたい」とみごとな田川弁で答えてくれた。何んと有難い事だろう。今どきこんな心優しい思いやりのある若者達のいる事と、それを支えて下さる学校側の姿勢に唯々頭の下がる思いであった。
地域と一体となり伝統を守って下さる母校の先生方をはじめ後輩の皆様に心から厚く々御礼申し上げます。そして母校のますますの発展をお祈り申し上げます。
　　•ふる里を遠きにありて思う者より。
（一部「川渡り神幸祭行事調査報告書」参照）

13期　後藤敦子
ピアノが好きで、毎日ベートーベンの月光の曲や、リストのラ・カンパネラ等を練習していましたが、自己流になっていないのかと再確認の意味もかねて、ピアノ教室に通うことにしました。先生が、アキレ顔で「初めから練習しなさい」と。ブルグミュラーの「素直な心」からスタートとなり、保母養成所時代を思い出しました。初心を忘れるべからず。宝くじ購入をやめ、授業料に回すことにしました。笑い。

15期　靏川登美子
「文部科学省の発表によると、注目度の高い論文の数は日本は世界10位。日本の衰退は一段と進み世界が高度人材の育成を競う中、次世代の研究を支える人材が不足している。米国では民主主義などの価値を共有する日本との協力を重視すべきとの声もあるが、このままではそんな声さえ聞かれなくなる恐れがある。」これは新聞記事の抜粋ですが、多くの分野で、日本衰退論を聞きます。私は長年英語教育に携わり、教育の力を強く信じてやってきました。コロナ禍でこの先何が起こるかわからない世界を生き抜くには「回復力」が最も重視されるとか。
そして、この「回復力」は学習を通してしか獲得できないとも。
これからも教育の力を信じて、社会に貢献していきたいと考えています。

福岡県社会保育短期大学

保育科9期　麻生秀子
退職後、今年で5年。今は週3回幼稚園に勤めています。子ども達からパワーをもらい、体はヨレヨレになりながらも元気にすごしています。今年度で幼稚園免許も終了します。
社会福祉科6期　松元良子
コロナ、異常なほどの雨の降り方、そして猛暑の中、体調管理に苦労している毎日です。皆様も異常気候の中いかがおすごしですか。1年、1年また1日、1日　年を増す毎にこれからはきびしさを感じていくような気がしています。皆様も体に気をつけて毎日をお過ごし下さい。南の地より健康とご多幸をお祈り申し上げます。

社会福祉科13期　野田智美
社会保育短大13回卒業生です。昨年還暦を迎えました。寮生を中心に（すずかけ寮でした）2年に1度の同窓会を開いています。前回は北九州でした。昨年は大阪で開催予定でしたがコロナの影響で中止となってしまいました。コロナが収束し、はやくみんなで集まれたらいいなと思っています。

保育科15期　秋元裕子
還暦目前にして、コロナ危機。さて、残りの人生「何が出来るのか？」と自問自答の正念場です。崖っぷちに立っていながら、それでもなかなか正面から向き合えない“逃げる自分”とのジレンマに悩む日々を過ごしています。自分の持っているものを最大限に活かして、人の役に立てる事…を見つけ、精一杯生き抜いていきたいと思っています。
皆様におかれましても、何かと悩ましい日々だと思いますが、それぞれの持ち場で御活躍下さい。そして呉々も御自愛下さい。　お元気で―。

保育科23期　小林由美子
『ウチ、断捨離してます！』
毎週月曜日夜8時からBS日テレで放送されている、「ウチ、“断捨離”しました。」が大好きで毎回録画して見ています。
2020年年明け、急遽主人の実家での生活が始まり、
◯自分たちが28年住んでいた借家
◯娘が6年住んでいたマンション
◯義母の家(主人の実家)
この3軒の断捨離&引っ越しをすることになりました。
動くのは95%私で、主人は大型家電の移動時のみ。
娘のマンションは、週末に泊まりがけで行き、約２ヶ月で終了。主がいないので、明らかにごみである物以外は勝手に断捨離することは出来ず、実家に留め置きです。
同時に実家の断捨離も開始。ここで感謝したいのは主

人。片付けに手を出さないかわりに口も出さずにいてくれたこと。私が自分のペースで楽しく断捨離出来たのはこれが大きいのです。
最難関は28年住んだ借家。実家から車で15分なので、必要な物は移動済み。大家さんに年内には終了したいとの意向を伝え、毎週日曜日10時~18時と決め、ひたすら断捨離。昔ながらの造りで広い２階建て一軒家で部屋数も多く、結婚してからの荷物も半端ない。その上、18歳で親元を離れ、社保短のすずかけ寮に入った当時の荷物がそのままあるほど、収納力抜群のこの家。ラジオを聴きながら、ごみ袋片手にひたすら断捨離。リサイクルショップへ持ち込んだ物も沢山あり、家賃２ヶ月分くらいは買取してもらえました。毎週楽しく頑張って、一つ一つ自分の手で仕分け分別し、一部屋一部屋空っぽになっていきました。何もかもなくなった思い出いっぱいの家の動画を撮り、奄美大島にいる娘にも送り、予定より２ヶ月遅れで完了しました。
同じことをいずれ娘がやることになると想像すると、自分が元気で仕分けが出来るうちに、なるべく断捨離しておこうと思い、今もなお継続中。物を大事にする親世代からすれば、「なんて勿体無い」ときっと思っていることでしょうが、欲しい方に貰ってもらったり、リサイクルショップなどを活用したりすれば、ただ仕舞って置くだけよりも良いのではと考えるようにしています。コロナ禍で、大変な世の中になりましたが、私にとっては、何の誘惑もなくひたすら断捨離に没頭する日々となりました。コロナが落ち着いたら、鹿児島の実家の断捨離をしたい！早くその日がきますように。

福岡県立公衆衛生看護学校

11期　大塚順子
コロナ禍でいろんなボランティア活動が中止となり体重がふえてきました。毎朝のラジオ体操と朝晩のウォーキングで少しずつ努力しています。
毎日食べたい10品目チェック
さ あ に ぎ や か（に）い た だ く
には気をつけるようにしていますが、どうしてもおやつをたべすぎますね。
玄関の前は朝顔やサンパチェンスが咲きほこって炎天下のあつさをふきとばしてくれるようです。早くコロナが終焉するように祈りたいです。

14期　池田カズヨ
公衛看14回生のみなさん　お元気でお過しでしょうか。ここ1年半位は、コロナ禍で人と会うこともできず、ましてや旅行もままならない日々を強いられている現状ですね。
福岡の六本松で1年間過した学生生活があったから今があると常に誇りに思っています。私も元気に喜寿を迎えることができ、週2～3回の仕事ができることに感謝しています。医療保険も介護保険も今は無縁で、毎日1時間程度歩いて、家庭菜園で採れた野菜食が元気の素だと思っています。コロナが収束したら旅がしたいです。歩いて食べて時々仕事をしての生活を続けたいと思います。みなさまもお体に気をつけて下さい。

18期　備後由喜江
コロナ禍の中、マスク生活には、慣れてはきたものの、思いっきり羽根のばせない状況に耐えていくのが大変です。
週の半分は実母の介護のタメに約1時間40分かけて、玉名まで通う毎日です。住みなれた自宅ですごせるよう、支えているところです。

福岡県立看護専門学校

保健婦助産婦科1期　山本サエ子
1972年に学校を卒業し、49年になります。保助科1回生の皆様お元気でお過しでしょうか。大阪府の保健師として38年間務め、専業主婦となって11年が経ちました。今保健所は新型コロナ対策の要となり、多忙を極めておられる事と存じます。私も定年退職前6年間は、感染症チームリーダーとして、多様な経験を積まさせていただきました。まだまだ新型コロナの感染終息は遠いようです。私も基礎疾患のある高齢者の一人として、2回目のワクチン接種は終わりましたが、安心はできません。保健所は予防に力点をおいて、仕事を進めるところですが、なかなかはっきりと数値が現れる仕事が少ない為、行革の度に縮小、統合が行なわれ、人員も削減されてきました。コロナパンデミック下において、保健の重要性が見直されてはきましたが、グローバルな視点で保健所機能が充実されることを願ってやみません。一日も早く新型コロナ終息を祈っております。

保健婦助産婦科2期　倉西邦子
コロナ疲れで、世の中が大きく変わりました。いつになったら、もとの生活に戻るのか、毎日、不安と期待を持って毎日を過ごしています。

保健婦助産婦科6期　江島恵美子
退職後、始めたピアノと陶芸、今も続けてますが、なかなかうまくならないですねえ。今年5月にピアノの先生が遠方に転居され、しばらくブランク後、7月に新たな先生につきました。「肩と腕の力を抜いて」「親指のタッチが強すぎ」「姿勢が…」「悪いくせがついている」と言われ、四苦八苦しながら、レッスンに通っています。自分の指ですが、なかなかうまく動かず、皆様に“ひろう”するのは、まだまだ先の様です。
陶芸は、うまくはないのですが、迷惑をかえりみず

“もらって”と押しつけてもらってもらってます。

保健婦助産婦科6期　犬塚恵子

高齢者となり、日々、心身のメンテナスをしながら、週3回、行政の中の福祉部門で「要援護者の地域見守りネットワーク事業」を受けもち、勤務しています。3人の子ども達も各々家庭をもち、孫も5人となりました。コロナ禍の中、県外に住む孫達に会うことは、思うようにできませんが、孫の成長を楽しみにしております。

関西から沖縄（石垣市）までの同窓生との日々のラインでのやりとりは、とてもタイムリーな情報が多く、よい刺激となっています。コロナがおちついて、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

看護婦科4期　松本まき子

私は71歳になりました。看護学校を卒業して45年、まだまだ現役、といっても、2日／週の診療所の仕事。しかし相棒が休めば代わりに出勤する。67歳で一度、引退した時は、特に趣味のない私はストレスを溜めてしまった。今でも看護学校のクラス会をするなど（コロナ禍で休息中）久し振りに会った時は話がはずむ。お互い相手の家を行き来したり、何かあった時（大雨、台風、地震など）必ずといっていい程、連絡をし合ったりする。本当に沢山の良い友人にめぐり逢えたと思っています。この学校の友人がいなかったら、私の人生も少し寂しいものだったでしょう。専門学校は年令差あったが、いろいろな経歴をもつ人も多く、また実習なども楽しかった事、時々今でも思い出します。今の診療所では発熱外来、コロナワクチン接種、集団接種の手伝いなど、毎日があっという間に過ぎていきます。これも資格があればこそと思います。趣味は看護師の仕事ではダメでしょうか？

看護婦科6期　井本邦子

家庭菜園、ミニバレーと毎日元気に過ごしています。看護科のクラス会では、屋久島1泊旅行を計画していましたが新型コロナウイルスの流行で延期のままです。早く落ちついて自由に旅行ができるようになってほしいです。毎日孫達に会える幸せを大事にしたいと思います。また、医療現場で頑張っていらっしゃる方々に感謝です。

看護婦科7期　黒岩都子

コロナ禍、会員の皆様には、大変な日々をお過ごしの事と拝察致します。私自身も、日々、緊張し職務についておりましたが、この夏、誕生日を境に退職致しました。県看での看護学生生活は、わずか2年でしたが、これが基礎となり看護師として勤めが果たせました事、心から感謝申し上げます。

コロナ禍、猛暑続きの折、皆様、どうぞご自愛下さい。

看護婦科10期・助産婦科5期　重富　恵

みな様　お元気でお過ごしでしょうか？

私も還暦から2年が過ぎ、今も仕事にがんばっています。コロナの為いろいろと大変ですが看学10回生　助学5回生のみな様がんばって行きましょうネ。私にとって今でも県看の思い出は宝物です。

看護婦科16期　徳永留美

皆様お元気ですか。

コロナ禍の中、それぞれの環境で活躍されたいることと思います。私はおかげ様で元気に高齢者施設で看護・介護にたずさわる日々を過ごしております。

心折れそうな時も、なつかしい皆様の笑顔を思い初心にかえり力を頂いています。

まだまだこの状況は続きますが、身体ご自愛下さりいつか再会出来る日を楽しみにしております。その日までどうかお元気で。

福岡県立大学

社会学科4期　簀戸麻里

県大を卒業後、就職した会社で働きながら現在は1児（女の子）を育てています。同窓会の会報が届くたびに田川で過ごした4年間を懐かしく思い出しています。

社会福祉学科12期　椎原優子

社会福祉として、デイケアの相談員として働いています。

看護学科13期　花田知加子

今、3年目　毎日頑張っています。

社会福祉25期　菅谷仁志

今年6月より、新卒で1年近く勤めた一般企業を退職し、市立病院のMSWとして勤務を始めました。大学ではSWとしての心構えや仕事について学んでおりましたが、現場は退院調整の為だけにSWが仕事をしていて、本当に患者の立場に寄り添った仕事ができているのか？

日々考えながら

仕事をしています。

訃　報

（総会中止案内発送後の連絡分）

追悼：謹んでお悔やみ申し上げます。

福岡県立保健婦養成所4期
石井和子　平成24年1月25日　逝去

福岡県立保健婦養成所4期
安川千恵　令和元年11月30日　逝去

福岡県立保健婦養成所6期
渡辺マサ子　平成24年2月5日　逝去

福岡県立保健婦養成所7期
岡村ウメ子　逝去

福岡県立保母養成所4期
鬼塚博子　平成28年4月24日　逝去

福岡県立保母養成所5期
伊達ヨシ子　平成30年6月17日　逝去

福岡県立保母養成所7期
城崎澄子　逝去

福岡県立保母養成所13期
桑野悦子　逝去

福岡県立保母養成所13期
米田尚子　令和3年2月21日　逝去

福岡県社会保育短期大学　社会福祉科2期
﨑長節子　令和元年9月　逝去

福岡県社会保育短期大学　社会福祉科13期
初田久美子（旧姓堂園）　令和2年11月　逝去

福岡県立大学　社会学科2期
塩崎俊介　令和3年4月14日　逝去

福岡県立大学　社会学科7期
髙野裕子　平成30年10月16日　逝去

福岡県立大学　看護学科9期
髙濱大地　令和3年3月14日逝去

福岡県立大学大学院
人間社会研究科福祉社会専攻8期
賀戸麻里子　令和3年7月5日逝去

(敬称略)

★同窓会事務局より★

〇同窓会会員の慶弔に際し、同窓会より電報を送信しています。慶弔事項をFAXまたはE-mailで同窓会事務局にご連絡ください。各期幹事に慶弔事項の問い合わせをしていますが、追加慶弔事項がありましたら事務局までお知らせください。また旧教職員（旧県看職員を含む）も特別会員として電報送信をしています。

〇近況報告、同期会開催予告、同期会報告を事務局までお寄せください。同期で声をかけ合って集まり、卒業しても支えあい、繋がりを紡いでいく同期会の積み重ねこそが同窓会活動に広がりを与え、深みをみせていくことになるでしょう。

〇同窓会ホームページに新着情報を掲載しています。

これからも大学祭や入学式、卒業式また四季折々の出来事を掲載していきますので、ぜひご活用ください。

登録お願いします

同窓会のLINE

同窓会のTwitter

同窓会の
メールアドレス

同窓会の
ホームページ

同窓会活動への寄付者一覧（敬称略）

下記の方々より同窓会活動への寄付が寄せられております。お名前を掲載するとともに、お礼申し上げます。寄せられました寄付金はこれからの同窓会活動に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。
2020年7月15日～2021年9月30日現在　　148名　642,500円

福岡県立保母養成所

3期	勝間信子
4期	川村千佐子
4期	月脚雅子
5期	合代敦子
6期	矢津田克子
6期	宮﨑陽子
6期	西　洋子
6期	福井尚子
7期	森光千佐子
7期	佐東惠子
8期	堤　典子
9期	上田ヤス子
9期	眞野征子
9期	塩見恵子
9期	入江喜江
10期	真島吾代
12期	上野佳津子
13期	木村美枝子
13期	加藤和子
13期	清水紘子
14期	野坂留美子
14期	松野トミ子
15期	靏川登美子

匿名希望1名

福岡県社会保育短期大学

保育科1期	宮崎敏子
保育科1期	柳井えつ
保育科1期	古川啓子
保育科4期	田野原静代
保育科6期	篠﨑順子
保育科6期	小代恵子
保育科7期	黒木美和子
保育科7期	楠野久恵
保育科11期	歳國一枝
保育科11期	坂本和代
保育科11期	槐島三千代
保育科13期	大瀬瑞穂
保育科13期	佐藤和恵
保育科13期	長部多佳子
保育科14期	グリーンハウスっ子
保育科18期	福間真由美
保育科22期	北田初香
保育科19期	福丸美栄
社会福祉科1期	大塚佳苗
社会福祉科1期	佐野真理
社会福祉科1期	谷口敏枝
社会福祉科2期	栗原けい子
社会福祉科2期	首藤茂子
社会福祉科3期	坂東俊子
社会福祉科3期	榊　京子
社会福祉科4期	小川歩子
社会福祉科5期	鬼木八重子
社会福祉科5期	大畑美也子
社会福祉科6期	岡山智恵子
社会福祉科6期	大庭公子
社会福祉科8期	福田祐子
社会福祉科8期	浅岡悦子
社会福祉科9期	吉村千春
社会福祉科9期	西原祐子
社会福祉科10期	藤田優美子
社会福祉科10期	濵﨑清香
社会福祉科10期	藤田優美子
社会福祉科12期	横田ひとみ
社会福祉科12期	原　律子
社会福祉科15期	秋枝いをり
社会福祉科15期	太田千鶴子
社会福祉科15期	谷川由美子
社会福祉科19期	西嶋裕子
社会福祉科20期	三浦　緑
社会福祉科23期	見月佐知世
社会福祉科23期	牛島　好
社会福祉科24期	畑中好美
社会福祉科24期	畑中尚樹

匿名希望11名

福岡県立保健婦養成所

2期	小松弘子
3期	丹以久代
4期	神谷トシ子
10期	石橋照子
10期	箕輪尚子
10期	姫野弘子

福岡県立公衆衛生看護学校

11期	大塚順子
11期	香山充子
11期	水田幸子
13期	牟田斉子
18期	備後由喜江
19期	井上明美

福岡県立看護専門学校

看護婦科1期	田中睦恵
看護婦科2期	野田洋子
看護婦科2期	廣永泰子
看護婦科2期	本田典子
看護婦科3期	山田和子
看護婦科4期	枝元京子
看護婦科4期	中島章子
看護婦科4期	津留崎京子
看護婦科5期	高橋百合子
看護婦科6期	竹田明美
看護婦科7期	黒岩都子
看護婦科7期	西利江子
看護婦科7期	山口由喜
看護婦科7期	横手綾子
看護婦科10期	飯干とみ子
看護婦科12期	山中真理子
看護婦科13期	石田雅子
看護婦科14期	井口比呂美
看護婦科15期	山手美和子
助産婦科4期	轟木富貴子
助産婦科5期	東川加津恵
助産婦科6期	松水春代
助産婦科7期	山口真実
助産婦科10期	山崎雅子
保健学科19期	奥村優貴
保健婦科3期	平　久美
保健婦科4期	小泉孝子
保健婦助産婦科1期	山本サヱ子
保健婦助産婦科1期	田代孝江
保健婦助産婦科2期	堀本フカエ
保健婦助産婦科5期	田中まゆみ
保健婦助産婦科5期	天本　都

匿名希望2名

福岡県立大学

社会学科2期	冨永将介
社会学科2期	前田誠太郎
社会学科2期	首藤由紀
社会学科4期	簀戸麻里
公共社会学科21期	濵田真衣
社会福祉学科5期	高橋桂子
社会福祉学科12期	林原江里子
人間形成学科3期	大島聖子
人間形成学科4期	池上恵子
人間形成学科13期	二宮飛鳥
看護学科11期	杠　舞
看護学科15期	米盛満里菜

匿名希望5名

大学院

人間社会学研究科 福祉社会専攻9期	大垣京子

2021年10月1日以降は次号に掲載します

秋興祭について

福岡県立大学ホームページに秋興祭実行委員長の記事が掲載されましたので秋興祭実行委員会の転用許可を得て掲載します。

新秋の候、この未曾有の災禍の中、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
今年で第30回を迎えることとなりました秋興祭は、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から、学内関係者（学生及び教職員）のみでの開催となりました。学祭を開催するにあたり、協力してくださっている地域の皆様、外部から模擬を出店してくださる皆様、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
なお、今年のテーマは、「Re:start～未来へ繋ぐ心の和～」です。このテーマには、昨年開催することができなかった秋興祭を例年とは異なる新しい形で開催し、秋興祭から広がる和を来年、再来年と未来へ繋いでいきたいという願いが込められています。
現在、ステージ企画や各部署で当日に向け、感染対策を講じながら、着々と準備を進めている最中でございます。
秋興祭に関わってくださるすべての皆様のご支援・ご協力に感謝し、実行委員一丸となり秋興祭が大成功に終わるよう努力していく所存です。普段お世話になっている地域の皆様へ恩返しができるよう、来年度以降も秋興祭実行委員全員で精進していきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

福岡県立大学秋興祭実行委員会　委員長　山下由樹

一昨年の
秋興祭の
様子です

ご意見とご要望への対応

現在、会報編集は会員の皆様よりいただいた原稿を事務局で編集し、四役または幹事会で会報発行の承認を経て、データを印刷業者で印刷し事務局で発送しています。寄稿者の氏名、卒業期は、名簿と原稿を擦りあわせて校正を繰り返し行っております。気づかれました誤植、訂正箇所などがありましたら事務局までご一報くださいますよう、よろしくお願いいたします。
また、いただいたご要望、ご意見にはなるべく迅速に同窓会事務局で対応いたしますが、会報の訂正につきましては次号での訂正となりますことをご了承ください。
要望の中には、案件として、四役会や幹事会で検討する場合もあります。
今後も同窓会活動へのご意見、ご要望をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。
会報33号は年会費納入者と令和元年度、令和2年度の県立大学卒業生に発送しております。宛先不明で返送される場合もありますので、同窓会事務局への住所登録にご協力いただきますよう、同期の方へお声かけください。よろしくお願いいたします。

福岡県立大学同窓会
〒825-8585
福岡県田川市伊田4395
福岡県立大学内　3号館１階　3108
福岡県立大学同窓会事務局（金曜日）
Tel&Fax：0947-42-2777
E-mail:office@fpu-alumni.org
URL:http://fpu-alumni.org